

第3回高知家子どもの虐待防止推進セミナー 参加者の声（アンケート結果）

令和元年 11 月 19 日(火)10:30～16:00
高知県立ふくし交流プラザ 5 階研修室A

○集計状況

- ・回収数（率） 43/98（43.9%） ※全体参加者数 105 名中、終日参加された方のみ母数とした。
- ・性別 男性：6、女性：33、不明：4
- ・年齢層 20代：4、30代：6、40代：9、50代以上：23、不明：1
- ・職種・所属等
ソーシャルワーカー・スクールソーシャルワーカー：2、弁護士・法務関係：2、
警察関係：4、保健師：5、保育士：1、相談員：8、民生・児童委員：7、行政職：2、
管理職：1、児相職員：3、不明 8

○講演①の感想

- ・青いつぶつぶが、いかに大事なイメージがしやすく理解しやすかった。【ソーシャルワーカー】
- ・非常にわかりやすい説明とパワーポイントでした。具体的事例も多く勉強になりました。【弁護士】
- ・「当事者性」という部分で改めて考えさせられました。支援者側での話がどんどん広がり、当事者本人が何に困っているのか分からないということが起こらないためにも、当事者を含めて行うことも必要だなと感じました。【相談員】
- ・予防が大切ということが、とてもわかりやすく、改めて重要性を認識しました。今、予防に力を注いでいないことが、10年後の自分たちの首を絞めると痛感しました。担当が情報発信し、体制を少しずつでも作っていったらなと思います。【保健師】
- ・具体的に何をやる？という7つのことが心に残りました。言葉にして共通理解を図ることや当事者性を重んじることなど当たり前のようでいて、曖昧な場合が多々あると思いました。ケースバイケースとおよび腰にならないで、きっぱりと対応できる力をつけたいものです。【相談員】
- ・支援の早期対応、関わるケースの事例がよく分かった。ケースバイケースの対応が駄目とわかった。【行政職】
- ・大変わかりやすいお話でした。すぐに取り入れることが出来ることがありました。【相談員】
- ・一人一人、感じ方や思いが異なるため、一人一人の意思や意向を尊重することも大事なんだなと改めて感じた。支援者側の取り方も一人一人違うため、やはり情報共有、連携を十分とっていく必要があると感じた。【保健師】
- ・つぶつぶの話がわかりやすかったです。予防の観点から考えていくことが大事と思いました。厳しい業務内容の時ほど、やはり円滑な人間関係が大切かもしれないと思いました。【保健師】

- ・早急に対応しなければならないケースに目が行きがちだが、小さな相談ケースから丁寧に対応することで、家族が大きな困難に陥らず、親子分離に至ることなく生活出来ることが求められる支援なのだった。【保育士】
- ・青いつぶつぶを支援したら予防になるというお話、すごく心に残りました。【一】
- ・〇〇の相談員をしていますが、自分たちの関わりは「青いつぶつぶ」ゾーンの方がほとんどであるように感じます。地域の社会資源のひとつとして、子育て支援にどのように関わっていいのか良いヒントを頂きました。【相談員】
- ・乳幼児期の子育てが重要で特に母との愛着形成が必要、それを早期に支援していけば大きくなってから支援が少なくすみ、子供自身が自分の力で大人になっていくと思いました。【一】
- ・(心に残ったこと) 子育て支援の一環、青いつぶつぶ、当事者性など。【保健師】
- ・当事者(家族)が変わるのは難しいですが、何のために私たちが関わっているのか何を心配しているのかを明確に分かってもらえるように伝えることを、所内で協議したい。また、個別ケース検討会に当事者参加を運営できると当事者の意識を高めることができるのではないかも思った。【相談員】
- ・関係機関で基準などを共有し決めておくことが大切だと思いました。【保健師】
- ・アニメーション等を用い、視覚的にとてもわかりやすく説明していただき有り難かったです。市町村として、予防に着眼し、思考錯誤されながら取り組まれたことと思います。行動力、企画力等参考にさせていただきたいと思いました。【警察関係】
- ・市町村の役割についてわかりやすい説明でした。【警察関係】
- ・予防の観点を大切に、関係機関からの「少し気になる子…」という情報に対して丁寧に対応していくことの大切さを改めて実感しました。また、当事者(親子)が主であることを忘れず、支援者の押しつけにならないよう改めて振り返り対応について考えたいと思います。【相談員】
- ・とても明確で分かりやすかったです。青いつぶつぶにウエイト、がけから落ちないようにする→すごく説得力のあるお話でした。当事者との共有、ことばにして支援者間でも共有出来ること、大事だと思いました。【児相職員】
- ・子育て混乱家庭と関わる中で、親子に寄り添い、親の思い子供の思いを聞きながら、子育ての応援団として時には関係機関とつないだり、相談できる場を設けながら支援できたら、と思います。【相談員】
- ・ゴミ屋敷をレベル分けしているのは、他機関が共通認識を持つのに非常に有意義だと思います。絵にして視角化しているのもわかりやすいです。【警察関係】
- ・神奈川県取り組みについては、2014年のJ a S P C A Nの発表を見て以来、とても注目しています。今回の講演を聴きまして、とても感銘を受けました。サインズオブセイフティの枠組を実践されていることに感心しました。教えて頂いたことを持ち帰り、研修などに役立ててみたいと思います。【児相職員】
- ・虐待予防の充実が、虐待防止につながると思います。そして、効果的、実行性のあるものにするために、当事者参加型のケース会議を、意識して取り組んでいきたいと思います。【管理職】
- ・当事者を入れてのケース会議ができれば、誤解が生まれないと思い、取り入れられればと感じました。【行政職】
- ・市町村、児相の関わる段階を青・赤・黒のつぶつぶに例え、ケースによって画像でそれを動かし、市町村、児相のかかわりの現状を説明していただいたことでイメージしやすかった。【一】

- ・速めの対応で支援の度合いが変わってくる。また、7つの具体的取り組みの事を学び、これだけ変わって行くかな～と思いました。【民生・児童委員】
- ・部署の中でも認識の違いがあり、丁寧に確認していくことが必要だと感じました。当事者参加が必要になってくること、そのためのアプローチが重要だと思いました。【行政職】
- ・つぶつぶの話が分かりやすくよかったです。考え方の地域定着が必要だと思いました。【一】
- ・地域に住む子どもとの一層のつながりの拠点は市町村の役割とのお話、子どもに関わる際の自分の傾向などを知ることができ、勉強になりました。【一】
- ・よい話であるが、もう少し時間をとり、ていねいに話す場があればよかったですと思います。【民生・児童委員】
- ・地域の子供は地域で守るために、初期対応としての予防が大事である事がよく分かりました。また、レベル感を合わせて情報共有の必要性にも気づかされました。【法曹関係】
- ・早い段階で気づき対処する青つぶの話よくわかりました。しんどい親、しんどい子供に早く気づき虐待まで高じない様、見守っていきたいです。ことばのカード再度見直していきたいです。【民生・児童委員】
- ・言葉で共通認識することの大切さを改めて感じました。【スクールソーシャルワーカー】
- ・青いつぶつぶが賦に落ちました。そこをこれからしっかり見ていくこと、当事者性を重んじることも考えさせられました。言葉は丁寧に「支援の押しつけになっていないか・・・」自分も会議の中できちんと発信していきたいです。【一】
- ・予防が一番だと思う。地域での見守り支援の仕方について、もう一度考える事が出来た。ありがとうございました。【相談員】

○講演②の感想

- ・明石市の取り組みの手厚さ勉強になりました。【ソーシャルワーカー】
- ・明石市の取り組みに直接関わっている方から、お話を聞く事ができ、具体的取り組みが見えました。
【弁護士】
- ・地域で子どもを育てるために、様々な取り組みをされていて、素晴らしいなと思いました。日頃から子供と関わる中で気づきを他機関との連携のなかで共有することの大切さを改めて感じさせられました。【相談員】
- ・子どもを核とした市政の実施、とてもうらやましいと思いました。何年かかけて体系化されていったところを伺う事ができ、体制づくりを考えるにあたってとても参考になりました。地域づくりと一体的な取り組み、保健事業でもなかなか出来ないのが現状なので、持ち帰って他の職員とも情報共有したいと思います。【保健師】
- ・こどもスマイル 100%や、あかし里親 100%プロジェクトに代表される、もれや見過ごしを起こさないしくみづくりと熱意に感銘を受けました。誰でもが子供の福祉に役立てる自治体作りを本市にも導入していきたいと思いました。【相談員】
- ・地域の関係機関との連携に力を入れているのが分かった。【行政職】
- ・参考になる事が多くありました。【相談員】
- ・子どもを取り巻く関係機関通しの連携、普段の業務の中でも必要性をととても感じてる。健やかな成長発達のため、情報共有を密に行いながら支援を行いたいと思う。【保健師】
- ・保健師としての強みを活かして活動されてきたんだろうなと思いました。小規模町村では要対協に保健師が配置となることが多く、母子保健と児童福祉の介入方法に戸惑う声を聞きますが、力みすぎずにこれまでの保健師としての視点も大事にしてほしい事を伝えていきたいです。【保健師】
- ・明石市の取り組みを学ぶことができ、とても参考になった。里親数をどのように増やしたのか教えて頂きたいと思った。【保育士】
- ・自分達の地域性を考えるとかけ離れた部分が多く、「へ～すごいなあ」と感じるだけでした。【一】
- ・明石市での取り組みが非常によく分かりました。「すべての子供を地域みんなで本気で応援する」の言葉通り、妊娠期の取り組みから社会的養育が必要な子どもまで、どんな支援が行き渡っているのかを知り、市町村との連携の中でどのような役割が果たせるか改めて考えさせられました。例えば妊婦全数面接への同席なども、実施している市町村があれば投げかけをしていきたいと思います。
【相談員】
- ・良い子、良い青年がいなければ日本の将来がないので、明石市の事業は素晴らしいと思いました。
【一】
- ・方針システムづくり、話し合っって作成、市として子育て支援をしていることについて、学びが多かったです。【保健師】
- ・地域全体で子どもを育てる仕組みを、色々な機関や事業を活かして実施している点に、何か取り入れることがあるのではないかと思う。【相談員】
- ・目的やビジョンを明確に取り組んで行こうと思いました。【保健師】
- ・児相機能と市町村機能を併せ持った組織として、多角的な支援に取り組まれており参考になりました。様々な施策に先進的に取り組まれており見習いたいと思いました。【警察関係】
- ・関係機関の連携や役割分担が大切であることを改めて感じました。【警察関係】

- ・全ては地域で暮らす市民のために。手厚い支援で明石市に住みたいと思いました。自身の自治体でも出来ることを考えていきたいです。【相談員】
- ・ネットワーク（子ども支援体制）が近隣にあり、情報交換がしやすい。大人が地域の子どもの目が行かず孤立している家庭を作らないようにしなくてはならないと思う。【民生・児童委員】
- ・市町村をまたがっての支援（例：町外の一時保護預かり施設から退所した後、問題が発生するケース）は、関係機関との連携、引継ぎはどうしたらよいか。両ケースとも、それぞれの市の中で支援が完結する場合はよいが、地方ではなかなか難しいです。視覚的に支援体制が構築されていることは自分たち支援員も迷うことがなく、ありがたいです。【一】
- ・明石市児相の取り組みの幅広い事に驚きました。基礎自治体の児相ならではだと思いましたが、子ども目線で丁寧な支援がされていると思いました。【児相職員】
- ・あらゆる機関と連携し子どもたちを見守る活動がされており素晴らしいと思います。虐待の早期発見につなげるためにも、こうした関係機関、地域、様々なつながりが大切だと改めて感じました。【相談員】
- ・明石市が大変子育て支援に力を入れて、児童虐待防止に取り組んでいるのがわかりました。予算の関係もあるでしょうが、高知県でも取り入れられるものは取り入れてほしいです。【警察関係】
- ・明石市の実践は心底驚きました。どうすれば、どのようなシステム構築、施策展開が可能になったのか知りたいと思いました。【児相職員】
- ・結局は“地域づくり”、我が町をどうしていくか、なのかなと思った。高知県内でも広がっていくと良いのになと思う。【一】
- ・子育て支援に力を入れておられ、その成果として「子育てしやすい環境だと思われる人」の増加として現れています。ビジョンの明確化の大切さも感じました。子育て支援や虐待予防に力を入れていきたいと思います。【管理職】
- ・連携についての体系図がしっかりできており素晴らしいなと思いました。具体的な事例を教えて頂ければ嬉しかったです。【行政職】
- ・子どもの安全のために一時保護は必須だろうと思っけていても、子どもにとってはどうなのかを考えることを抜かっていたように思います。子ども視点で考えることも重要だと思いました。日常を奪うことになることも忘れてはいけないことです。【行政職】
- ・明石市での「こどもを核としたまちづくり」に関する積極的な、且つ、具体的な取り組みの状況が聞けて良かったと思います。【一】
- ・明石の取り組みをお聞きし、子供の支援の充実に感銘を受けました。家庭と子供への連携、地域との絆の大切さを学びました。誰一人置き去りにしない戦い、素晴らしいと思いました。【民生・児童委員】
- ・新しい子どものためのセンターとして希望を持って取り組まれていることが伝わってきました。子ども食堂などを既存の「食の提供の場」の概念を超え、子どものための連携の場と捉えているところなど、ハッとさせられました。【警察関係】
- ・先進的な取り組みの多さに驚きました。〇〇市にも導入してもらいたい施策があり、まだまだ工夫をしていくことがあると思いました。【一】
- ・明石市の子育て支援が充実されている点、大変関心しました。直接関わっている仕事をしていないが、子どもに対する考え方、接し方など勉強になりました。【民生・児童委員】

・予算に余裕があると、羨ましいなと思ってしまいました。出来ることはしていきたいと思います。

【一】

・児相をこども家庭支援の拠点について、大変良いお話ありがとうございました。里親コンシェルジュによる支援など、市独自のきめ細かい支援の温かさを感じました。【児相職員】

・良い話しであるが、もう少し時間をとり丁寧に話す場があれば良かったと思います。明石市の職員などのやる気が見えて良い話だと思います。予算とやる気があれば高知県や高知市でも取り組めばと思います。【民生・児童委員】

・明石市が先進的に取り組まれていることが分かるとともに、妊婦全数面談の実施など早期の取り組みにも驚かされました。【法務関係】

・赤ちゃんの時からの子どもへの見守り、市としての一括した取り組み羨ましいです。少しでも参考にしたいです。【民生・児童委員】

・連携の際に使える方法が知れて良かったです。【スクールソーシャルワーカー】

・しっかりお金も使って支援の輪を繋げていて凄いなと思いました。連携できるところからやっていきたいと思いました。【一】

・子供の笑顔を守るために、見守り、支援を続ける大切さを今後も続けたい。ありがとうございました。【相談員】

○テーマディスカッションの感想

- ・いろいろと話が聞けて良かった。子どもを一番に取り組む活動を続けて行きたいと思った。【相談員】
- ・他の職種の方の意見も聞けて良かったです。【法曹関係】
- ・違う立場での意見、大変参考になりました。ありがとうございました。【相談員】
- ・他の町、機関の方、それぞれの立場の意見が聞けて良かったです。貴重な機会でした。児相の職員さんと研修を一緒に受ける事は普段ないので、このような機会も大切だと感じました。【保健師】
- ・振り返りができました。【相談員】
- ・いろいろな職種の方の意見が聞けて良かった。【行政職】
- ・勉強になりました。【相談員】
- ・支援者側が役割分担をしながら連携をとっていくことが大事であると感じた。【保健師】
- ・それぞれの職種、関係機関の方がどのように感じたか分かって勉強になりました。【保健師】
- ・当事者のための支援であるため、当事者を入れたケース会議は大変重要であると思う。しかし当事者のみの意見ではなく、それらを踏まえたアセスメントをすることが大切であるとも考える。【保育士】
- ・さまざまな地域、職種の方と、意見交換ができました。立場の違いへの理解、共通認識（共通のスケールによるもの）、また「子供の幸せ」を第一に考える事を大切にしたいと思います。【相談員】
- ・お年寄りと子どもが集まる場所をつくり、地域の目が行き届くようにしていったら良いなと思います。みんなの食堂と遊び場をつくる“守りの場”【一】
- ・いろいろなお話が聞けて良かった。【保健師】
- ・様々な職種の方と意見交換できて良かったです。【保健師】
- ・いろいろな立場の方の意見が聞けて参考になった。【警察関係】
- ・グループは、所属機関である程度グルーピングされると良いディスカッション（具体的に）が出来ると思います。【一】
- ・グループ内でまとまる、ということはありませんでしたが、聞いて終わりではない、それぞれが感想を言い持ち寄り、考える時間を持つことはよいと思いました。時間的にもそれほど長くもなく丁度だったと思います。【児相職員】
- ・参加者間で話し合いすることで自分の考えを整理できました。良かったと思います。【児相職員】
- ・グループ討議では、立場が違いすぎて（児童福祉の経験がない等）感想の出し合い中心となってしまった。それぞれの立場の感想を聞くことは、別の角度からの視点として参考になりました。【管理職】
- ・いろいろな立場で働いている方と意見が交換でき、勉強になりました。【行政職】
- ・他機関の方と情報交換などが出来て良かったと思います。【一】
- ・地域の違いにより、問題点の違いがあること。DVの場合、夫婦の仲にどの様に携わり入っていくのか難しいが、どうしていったら良いのか。ケース会によって解決していくのでしょうか。【民生・児童委員】
- ・高知医学部地域連携窓口の開設のお話など、参考になりました。【民生・児童委員】
- ・多職種の方のお話を聞く事が出来て良かったです。【一】
- ・意見がたくさん出て良かったと思います。【民生・児童委員】

- ・チェックリストの教育関係者への交付については、レベル合わせに役立つものと思います。【法曹関係】
- ・少しでも参考にして子どもたちを見守っていきたいです。【民生・児童委員】
- ・様々な機関の話が聞いて良かったです。【スクールソーシャルワーカー】
- ・他機関の事を聞いて良かったです。【一】

○今後希望する研修会について

- ・立ち直った人々の事例など、聞いてみたいです。【相談員】
- ・保護者支援について【相談員】
- ・何度かいらっしやっていると思うのですが、増沢高先生のアセスメントに関わるお話を聞きたいです。【相談員】
- ・今回、先進的な取り組みをされている県の話が聞いて参考になりました。具体的支援方法についての研修も聞いてみたいです。【警察関係】
- ・対応を誤って重大事案に発展した経験者の講話。目黒区、野田市、札幌市などの事案関係者の招へい等。【警察関係】
- ・代表者聴取、司法面接の技法について研修会をしていただきたいです。【警察関係】
- ・いつも有益な研修を企画されていて、ありがとうございます。今後とも引き続き開催をお願いします。【一】
- ・各機関の機能や連携など実際に様々な職種が集まり、グループワークなどしながら学べる場がほしいです。【スクールソーシャルワーカー】

○その他ご意見等

- ・テーマが市町村向けで、講師の方々も市町村でのお話をしてくださったのに、市町村の参加が少ないのは勿体ない。どんな広報や声かけをしたのか。市町村の児童福祉部門だけでなく、母子保健部門にも案内しているのか。もっと市町村に参加してもらおう工夫（単に依頼文を送付するだけでなく）が必要だったのではないか。結局身内だけの研修になってしまっていないか。【一】